

おかやまけんろうしきょう <ケア・アップ>

care UP

2023 • vol. 02

contents

おかやま
総合・福祉介護
フェス2022

輝くkaigoの
人達2022

座談会
2023

ワタシたちの“カイゴ”
せきららトーク

今、そしてこれから。介護業界の次世代を担う4人が語る座談会。

“カイゴ”にまつわるQ&A



特別養護老人ホーム
神庭荘
介護福祉士
川上 亘 (25) さん

特別養護老人ホーム
日本原荘
社会福祉士
藤元 一聖 (23) さん

特別養護老人ホーム
庄の里
介護福祉士
山下 愛真 (25) さん

特別養護老人ホーム
倉敷シルバーセンター
管理栄養士
藤井 日向子 (24) さん

座談会

2023

ワタシたちの“カイゴ” せきららトーク

介護業界の次世代を担う4人を動画でみてみよう!



岡山県内各地の施設で働く男女4人が集まって座談会を開催しました。働くうえでのやりがいや、悩み、プライベートのあれこれなど…本音に迫ります。これから就職を考えている方は特に必見です!

Q1

自己紹介 & 今のしごとについて

川上さん：神庭荘の川上です。私は介護職員で、食事や排せつ、入浴の介助など、利用者さんの身の回りのお世話から、病院受診の付添いもしています。一番近くで利用者さんを見ているのは私たちなので、病院の先生とのコミュニケーションも大切にしています。

山下さん：庄の里の山下です。私も介護職員をしています。同じように、身の回りのお世話をすると、

ショートステイを担当しているので、入退所時の荷物チェックをしています。

藤元さん：私は日本原荘で生活相談員をしている藤元です。生活相談員の仕事内容は、入退所の手続きや、ご家族からの相談対応、日々の連絡などです。生活相談員は「多職種連携」とよく言われるんですけど、日々看護師や管理栄養士と相談をしながら仕事をしています。

藤井さん：倉敷シルバーセンターの藤井です。管理栄養士をしています。利用者さんの食事形態が合っているかどうかを記録に残す食事観察や、行事の計画、現場と厨房との連携・業務調整などを行っています。



Q2

カイゴのしごとをはじめたきっかけはなんですか

川上さん：介護の仕事をしていた兄から話を聞く中で介護という仕事に興味を持ち、ご縁もあって兄と同じ施設で働くようになりました。今では同じ介護職員として情報共有し合っています。

山下さん：母が訪問介護の仕事をしており、幼いころから介護の仕事を目撃していました。訪問介護先に「あなたがいてくれて家が明るくなる」と言ってもらったエピソードを聞いたことがあって、自分もそういう存在になれたらいいなと思ったのがきっかけです。

藤元さん：曾祖母がデイサービスを使っていて、身近で生活相談員の仕事を見ていたこともあり、中学生のときに高齢者施設でボランティア活動をしました。

高校生になって進路を考えたときにボランティアでの経験を思い出して、介護に携わりたいと思うようになったんです。

山下さん：やっぱり家族の影響って大きいですね。

藤井さん：私が管理栄養士になろうと思ったきっかけは、自身が「食べること」が好きだったからです。管理栄養士の就職先は病院、保健所など色々ありますが、高齢者施設は食事を治療目的だけでなく、利用者さんの楽しみとしても提供できるんです。

川上さん：自分の好きなこと、やりたいことを仕事にできるって良いですね。

“カイゴ”にまつわるQ&A ①

Q

福祉施設には、介護職員しかいないと思っていました。他にどんな職種の方が働いていますか？

A

- ・日常の支援をする介護職員
 - ・健康管理をする看護職員
 - ・栄養管理をする管理栄養士
 - ・食事をつくる調理員
 - ・リハビリをする理学療法士、作業療法士
 - ・ケアプランをつくるケアマネジャー
 - ・家族や行政と連絡調整する生活相談員
 - ・みんなをまとめる施設長
- 色々な職種の職員が、ご利用者の日常を支えていますよ。



Q3 カイゴのしごとの楽しさ&やりがいを教えて

川上さん: 日常の介護一つ一つに対して、利用者さんから感謝の言葉をいただいたときです。この仕事をやってよかったと思う瞬間です。

山下さん: 利用者さんの笑顔や伝えてもらえることが増えたりすると、関係構築できているなど感じますよね。最近だと、誕生日会で祝われるのが嫌だという利用者さんにも喜んでもらえるように、日々のおやつとして誕生日ケーキをふるまったり、お部屋に戻ってからプレゼントを渡したりと工夫をしたのですが、一人一人に向き合った介護の大切さを実感しました。

藤元さん: 私は、退所時ご家族が荷物を引き取りに来られた際に「この施設でよかった」とご家族に言われたときが一番嬉しかったです。このご時世、なかなか面会できずに不安を感じられていると思うので、ご家族とのコミュニケーションも大切にしています。

川上さん: ご家族との関係づくりも大切ですね。利用者さんと比べるとご家族との時間はかなり少ないので、どうやって関係構築されているのが気になります。

藤井さん: 管理栄養士としては、自分が見つけたものを提供した

きに、笑顔で「おいしい」と言ってもらえることが一番嬉しいです。中には1年前に出したおやつを覚えてくれている利用者さんもいて、会うたびにいつも「あのおやつ、次いつしてくれるん？」と声をかけていただけるんです。

藤元さん: ちなみに何をつくられたんですか？

藤井さん: 1月はぜんざいをつくりました。私もあんこがとっても好きなので、塩を足したりいい塩梅になるよう工夫して、飲み込

みやすいお餅でつくりました。

山下さん: ぜんざいが好きな方、多いですね。私たちの施設でも喜ばれていました。

川上さん: 普段あまり関わらないのに覚えてもらっていると嬉しいですね。



Q4 やっぱり大変なところもあるよね、カイゴのしごと

川上さん: 事故やケガなど様々な危険が伴うので、認知症の方の対応をするときに大変さを感じます。軽く運動をしたり、他の利用者さんや地域とコミュニケーションをとる時間をつくったりして工夫をしています。

山下さん: 私は利用者さんの意図をなかなかみ取れないときです。そういうときは生活履歴を見返したり、生活相談員やケアマネジャーに相談できる環境が整っているので助かっています。

藤元さん: 月に1度の体重測定を担当になっているのですが、自分が入社して間もないこともあり、普段関わってない利用者さんのほうが多く、状態が分からず戸惑いを感じることもあります。

藤井さん: 生活相談員って色々な業務をされるんですね。

藤元さん: 私はまだ見習いなので、幅広く、色々な場所に駆り出されながら勉強中です。

藤井さん: 管理栄養士の大変なことは厨房との関係です。よく分からないまま指示を出してしまったり現場が混乱したこともありました。どこまで厨房や現場の介護職員に聞いてもいいのか分からないこともありました。私は積極的に関わりたいのですが、どこまで踏み込んでいいのか…

川上さん: ありがたいです！連携は取れていたほうが良いと思うし。

Q5 今後、どうなっていきたい？

川上さん: 「あの職員さんがいるから安心できるよね」と利用者さんのご家族にも頼られるような介護職員になりたいです。

山下さん: 忙しい中でも利用者さん一人一人と向き合い、居心地の良い介護を提供できる介護職員になりたいです。2年後にはケアマネジャーの資格をとって、もっと高く広い目線で仕事をできるようになりたいです。

藤元さん: 看護や介護、その他の職員からも気軽に相談をしてもらえるような生活相談員になりた

いです。利用者さんのこと以外でも、職員の仕事の相談も受けられるようになりたいです。

藤井さん: 職員のことまで考えてくれる生活相談員、素敵です！

山下さん: 相談しやすい生活相談員さんがいると私たちも心強いです。

藤井さん: 今は介護職員さんからの意見を元に食事変更をすることが多いのですが、管理栄養士として提案できるくらいの知識をつけたいと思っています。

Q6 これからカイゴのしごとをはじめめる人へのメッセージ

川上さん: 兄の影響ではじめた介護の仕事ですが、もうすぐ7年目になります。私は無資格でこの仕事を始めましたが、働きながら国家資格を取得しました。施設によっては見学やインターンシップの受け入れをしているので、まずは介護の現場を見てもらえたらと思います。

山下さん: 私が所属している庄の里は人間関係が良く、職種問わず手伝ってもらえる協力体制が整っているので働きやすいです。色々な方の気づきを得ながら

仕事ができるので、成長できる環境だと思います。

藤元さん: 他職種のみなさんと頻りに連絡を取り合っていると何かあったときに相談できるので、働きやすい環境づくりができます。

藤井さん: 栄養士のお仕事について相談できる相手は少ないので大変ではありますが、食事を通して高齢者が笑顔になったり、楽しみを提供できるのは栄養士の強みです。

“カイゴ”にまつわるQ&A ②

Q 介護職員の給与は安いのですか？

A 介護業界の20代の平均給与は月額292,320円です(*)。実は国の政策により、年々給与が増えていきますよ。社会福祉法人が運営する施設では、休日はもちろん、産休・育休などの特別な休暇もきちんと取れます。将来にわたって安心して働ける環境です。是非、お近くの施設に見学に行ってみてください。

(*) 『令和3年度介護従事者処遇状況等調査結果』(厚生労働省)

おかやま 総合・福祉介護フェス2022

岡山県老人福祉施設協議会では、関連団体と協力し、11月11日の『介護の日』に合わせて、若い世代を含めより幅広く県民の方々に、介護に対する正しい理解を深めていただくきっかけとなり、福祉・介護の仕事の魅力を正確に伝え、多様な人材の参入促進を図ることを目的に様々なプログラムを実施展開しています。

そのプログラムの一環として、岡山県老人福祉施設協議会は、「スマイルエンジェルX トーク&ライブショー」を実施しました。

県内の介護施設・大学等から応募を募り、選考会を経て選ばれた6名の

メンバーが、介護業界のPRのために約3カ月に渡っておこなってきたダンス・ボカールレッスンの成果をオリジナルソング『バトン』に乗せ、披露してくれました♪

現在、「スマイルエンジェルX」の動画を含めYouTubeにて、福祉・介護業界への関心を高めていただくための3種類のPR動画を配信中!ぜひ、ご視聴ください。



岡山県老協 Youtubeチャンネルはこちら

1 スマイルエンジェルX 『バトン』

福祉・介護業界初!?のアイドル誕生!「スマイルエンジェルX」を結成しました!! 福祉・介護の魅力をPRする、福祉介護アイドルグループが歌うオリジナルソング『バトン』を県内介護施設職員と一緒に踊るパフォーマンス動画です!メンバーの無限の可能性X(エックス)で皆様に笑顔を届け、福祉・介護の魅力を発信します!



2 スネークOZの カムカムエブリバディ2022

福祉・介護の本当の姿を知らないあなたに、「過去」や「噂」に捉われない、今と未来の「真実」を、謎のキャラクター(スネークOZ)が発信します。

初回のお題(テーマ)は、『退職者の多いブラック施設』『介護職員最強説』『スネーク厳選 おすすめ福利厚生』の中から一つを解説します。再生回数10,000回でシリーズ化!?



3 スマイルファッションチェック 2022(制服編)(私服編)

福祉や介護と言えほどの様なイメージをお持ちでしょうか?

暗い・キツイ・汚いなんて思っていないですか?それはきっとこの業界が社会に認知され始めた頃のイメージの一部分に過ぎません!県内の福祉・介護のフィールドで活躍している皆さんの「オン」と「オフ」のスマイルをお届けしています! まずは御覧あれ~!



輝く kaigo の人達2022

「響いて欲しいこの想い、届いて欲しいこの気持ち、写真と曲が織りなすスライドショー」
今年も介護現場で働く職員に焦点を当てた写真を募集しました。コロナ禍で展示会に限られる中、厳選した写真を2つのテーマに分けて動画制作しました。利用者様と介護に携わる職員の日常の関わりを多くの方に観て、知っていただき、素敵な瞬間を感じていただければ嬉しい限りです。そして、仕事としての介護の魅力をぜひ感じてください!
また、Instagramでの『写真展』も開催しています。写真一枚一枚の物語(ストーリー)を発信しています。あなたの琴線に触れるかもしれません。ぜひご覧ください!



「輝くkaigoの人達2022」
写真スライドショー



岡山県老協
Instagram



After Talk

いろんな職種のみんなど
座談会をしてみよう

川上さん:他職種のリアルな話が聞けてよかったです。同世代のみなさんの話を聞いて、僕ももっと頑張ろうと思いました。

山下さん:生活相談員も管理栄養士も人数が少ない分、責任感を強く感じられているのだなと思いました。他職種ともっと積極的にコミュニケーションをとって、介護職員発信で提案できることも増やしていきたいと思いました。

藤元さん:同世代で自分とは違う職種で活躍されているみなさんの話を聞いて、参考になりました。

藤井さん:川上さん、山下さんの「一番近くで利用者さんを見ているから」というのを聞いて、介護職員に頼ってもいいんだなと思えましたし、藤元さんから生活相談員の大変さを聞いて「私も力になれるかな」と思えたり、新しい発見がたくさんある座談会でした。